

SKYMASTER[®] PRO ED

BINOCULARS

SkyMaster Pro ED シリーズ 双眼鏡 取扱説明書

日本語 v1

この度は、セレストロン SkyMaster Pro ED 双眼鏡をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は、星空観察を最大限に楽しむために設計された双眼鏡です。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。

警告：太陽を直視すると、目に永続的な損傷を与える恐れがあります。双眼鏡の使用はもちろん、肉眼でも絶対に太陽を見ないでください。

眼幅の調整

眼幅(瞳と瞳の間の距離)は人によって異なるため、二つの視界を一つに重ねてクリアな像を得るには、双眼鏡をお使いの方の眼幅に正しく合わせる(調整する)必要があります。

1. 両手で双眼鏡を持ち、目に当てて遠くの景色を見つけてください。
2. 左右の鏡筒(本体の半分ずつ)をゆっくりと内側に閉じたり、外側に開いたりして、間隔を調整してください(図 2)。
3. 左右の円形の視界が重なり、一つの円形(シングルイメージ)としてクリアに見える位置が最適な眼幅です。

視度調整とピント調整

新しい双眼鏡を使い始めるとき(または、他の人が使った後に再び使用するとき)は、必ず視度調整ダイヤルをご自身の視力に合わせて正しく調整してください。

一度ダイヤルを調整すれば、他の誰かが設定を変えたり、不用意にダイヤルが動いたりしない限り、再度調整する必要はありません。

この設定は、ご使用前に「視度調整リング」(右側の接眼レンズに配置されています)を調整することで行います。ご自身の視力に合わせて双眼鏡を設定するには、以下の手順に従ってください。

1. 初期位置の設定：視度調整リングにある「指標(マーク)」を、スケールの「0」または「中央」の位置に合わせてください。(図 3)
2. 右レンズを覆う：双眼鏡に付属の対物レンズキャップを使い、右側の対物レンズを覆ってください。
3. 目標物の選択：木や看板など、遠くにある動かない目標物を選んでください。両目を開けたまま双眼鏡を覗き、選んだ目標物が視界の中央に来るように構えてください。
4. 左目のピント合わせ：両目を開けたまま目標物を見ながら、中央の「ピント調整ノブ」を回して、左の接眼レンズで目標物が最もクッキリ見えるように調整します。一度ピントが合ったら、この一連の作業が終わるまで、中央のノブには二度と触れないでください。
5. 左レンズを覆う：一度双眼鏡を目から離し、対物レンズキャップを付け替えて、今度は左側の対物レンズを覆ってください。
6. 右目の視度調整：両目を開けたまま、先ほどと同じ目標物を再び捉えてください。今回は、接眼レンズ側にある「視度調整リング」だけを回して、右の視界が最もクッキリ見えるように調整してください。



図.1



ロゴ入りのキャップ(下降笠)/
三脚アダプター用ネジ穴



図.2



7. 調整完了：双眼鏡を一度離し、すべてのレンズキャップを外してください。これで左右の視力差が正しく補正されました。以降は、目標物までの距離が変わっても、中央の「ピント調整ホイール」を操作するだけで、常に両目とも最適なピント状態で観察することができます。

【ヒント】

双眼鏡は、視力に対して調整する仕組みがあるため、メガネを外した状態でもクリアな視界を楽しめます。ただし、強度の近視や乱視がある方は、メガネをかけたまま使用の方がより快適に観察できる場合があります。ご自身の見え方に合わせて調整してください。

【なぜ片方のレンズを隠しているのに、両目を開けたままにするのですか？】
左右どちらか一方の視界しか見えない状態でも、両目を開けておくことをお勧めしたのは理由があります。

片目をつぶると、両目の周囲にある複雑な筋肉の働きによって、もう一方の目の視力(解像力)がわずかに変化してしまうからです。両目を開けたまま調整することで、実際に双眼鏡を使って観察する時と同じ、自然な視力状態で正確にピントを合わせることができます。

見口の調整

SkyMaster Pro ED シリーズには、専用設計のツイストアップ式見口が採用されています。この見口は、「最短(格納)」、「中間」、「最長(引き出し)」の3段階のポジションに設定可能です。

見口の位置を調整するには、親指と人差し指で見口を掴み、時計回り(右方向)に回してください(図4)。次のストップ位置(デント)でカチッと固定されます。

フィルターの取り付け

SkyMaster Pro ED シリーズは、31.7mm 径の天体用フィルターに対応した接眼レンズ設計を採用しています。接眼レンズにフィルターを取り付ける手順は以下の通りです(図5)。

1. 双眼鏡の見口を、時計回りに回して「完全に押し込んだ(格納)」位置にセットしてください。
2. フィルターのネジ山を、接眼レンズのネジ山に慎重に合わせてください。
3. フィルターを優しく回し、ネジがスムーズに噛み合っていることを確認しながら、自然に止まる位置まで回し続けてください。
4. もう一方の接眼レンズも、同様の手順でフィルターを取り付けてください。

【快適にご使用いただくために】

フィルターを装着した状態で最も快適に観察するには、見口を「完全に引き出した(最長)」位置にセットしてください。見口の縁がフィルターの上面よりも高くなるため、フィルターに目が直接接触するのを防ぐことができます。

三脚への取り付け

三脚に双眼鏡を取り付けることで、安定性が向上し、長時間の観察でも疲れにくく快適に楽しむことができます。

SkyMaster Pro ED 7×50 および 15×70

SkyMaster Pro ED の 7×50 と 15×70 モデルには、Celestron 純正の三脚アダプター(別売、一部機種は付属)を使用して三脚に取り付けるためのネジ穴が備わっています。

ネジ穴の出し方：双眼鏡の中心軸の前面にある「下陣笠」を回して外すと、三脚アダプター用のネジ穴が現れます。

取り付け手順：双眼鏡を三脚に固定する際は、ご使用になる三脚アダプターに付属の取扱説明書に従って取り付けてください。

図.3



図.4



図.5



SkyMaster Pro ED 20×80

SkyMaster Pro ED 20×80 は、追加のアクセサリ（別売のアダプターなど）を必要とせずに三脚へ取り付けられる、「内蔵三脚アダプター」が備わっています。

このアダプターは双眼鏡中央の「センターサポートロッド」に取り付けられており、ロッドに沿って前後にスライドさせることができます。これにより、三脚に取り付ける際、機材全体の重量バランスが最適になるポイント（重心）を簡単に見つけることが可能です。

【双眼鏡を三脚に取り付ける手順】

三脚プレートの固定：三脚のクイックシューにある 1/4 インチ取り付けネジを、双眼鏡の内蔵三脚アダプター底部にあるネジ穴に差し込み、しっかりと締め付けてください。

三脚ヘッドへの装着：双眼鏡を取り付けたプレートを三脚の雲台に装着し、固定します。この時点ではまだ重量バランスが調整されていないため、双眼鏡をしっかりと手で支えておいてください。

ロックノブを緩める：内蔵三脚アダプターの上部にあるノブを、双眼鏡のセンターサポートロッドが自由にスライドできるまで緩めてください。

重心の調整：双眼鏡をしっかりと保持したまま、前後に動かして、重さが均等になり安定するポイント（重心）を探してください。

バランスの確認：双眼鏡を支える手の力を少しずつ緩めて、バランスが取れているかテストしてください。もし前後に傾いてしまう場合は、水平を保てる位置が見つかるまで、さらに前後に動かして微調整を繰り返してください。

アダプターの固定：バランスの取れる位置が決まったら、内蔵三脚アダプター上部のノブをしっかりと締め、双眼鏡が動かないように確実に固定してください。



SkyMaster Pro ED 7×50 および 15×70

お手入れと保管

セレストロンの双眼鏡は、適切なお手入れと保管を行うことで、未永く安定した性能を発揮し、長年にわたってご愛用いただくことができます。

1. 衝撃と過度な負荷の防止：本体に強い衝撃を与えないでください。また、可動部を無理に可動範囲を超えて回さないでください。
2. レンズの保護：使用しない時は、必ずすべてのレンズキャップを取り付けてレンズを保護してください。
3. 保管場所：保管の際は、できるだけ涼しく乾燥した場所を選んでください。
4. 長期間の保管：長期間使用しない場合は、乾燥剤（シリカゲルなど）と一緒にビニール袋や密閉容器に入れて保管することをおすすめします。
5. 高温の回避：故障の原因となるため、炎天下の車内や暖房器具の近くなど、高温になる場所に放置しないでください。
6. 汚れの除去：本体や可動部に付着した埃、汚れ、水分は、故障を未然に防ぐため、できるだけ早く拭き取ってください。

クリーニング

双眼鏡の優れた光学性能を維持するためには、レンズを正しくクリーニングすることが不可欠です。レンズが汚れていると、双眼鏡を透過する光の量が減少し、観察時の視界の鮮明さや明るさが損なわれてしまいます。

1. ホコリの除去：柔らかいレンズ専用ブラシや、ブローアーを使用して、レンズ表面のホコリを吹き飛ばしてください。
2. 汚れの拭き取り：指紋や汚れ、くもりなどは、清潔な柔らかいレンズクロスやレンズティッシュを使い、円を描くように優しく動かして拭き取ってください。レンズの中央から始め、外側に向かって拭き進めてください。
3. 入念なお手入れ：より徹底したクリーニングを行いたい場合は、カメラ店や眼鏡店などで販売されている「レンズ・光学機器用クリーニングキット」の使用をお勧めします。※クリーニングキットを使用する際は、その製品の取扱説明書に従って正しくご使用ください。



SkyMaster Pro ED 20×80

⚠ 警告 太陽をのぞいてはいけません。失明の危険があります。

太陽を見ると、目に永続的な損傷を与える恐れがあります。双眼鏡の使用はもちろん、肉眼でも絶対に太陽を見ないでください。

⚠ 注意

- ⊙ 故障の原因となるため絶対に分解・改造をしないでください。分解した場合、保証が受けられなくなります。
- ⊙ 倒したり、ぶつかったりした場合に故障の原因になるだけでなく、思わぬ怪我をするおそれがあります。
- ⊙ キャップ、乾燥剤、包装用ポリ袋などを、お子様が誤って飲み込むことのないようにしてください。

保証内容について

このたびは Celestron 製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品の保証内容について、下記の通りご案内いたします。
ご使用前に必ずお読みいただき、大切に保管してください。

■ 初期不良について

ご購入日より3ヶ月以内に発生した不具合で、弊社にて初期不良と認められた場合は、無償で商品を交換いたします。
※ 保証対応には、ご購入時のレシートや納品書などの購入証明書が必要です。
保証書の代わりとなりますので、紛失しないよう大切に保管してください。

■ 保証期間

メーカーの定める操作マニュアルに従い、通常環境下で使用されている製品に発生した不具合については
ご購入日より2年間、無償で修理対応いたします。(電子部品に関しては1年間)

■ 無償保証の適用外となるケース

以下のいずれかに該当する場合は、保証期間内であっても無償保証の対象外となり、有償での修理対応となります。

- A) 通常的使用方法以外での操作や取り扱いによる故障や損傷
- B) お客様による改造、または不適切な修理に起因する故障
- C) 地震・火災・水害などの天災や不可抗力による損傷
- D) 購入証明書(レシートや納品書等)が提示できない場合

■ 修理について

修理のご依頼は、購入証明書(レシート・納品書等)を添えて、ご購入店舗または弊社サポート窓口までご連絡ください。
修理品の送料はお客様のご負担となります。輸送中の破損・紛失について、弊社は一切の責任を負いかねます。
修理に必要な部品について、製品の販売終了後から5年間を目安に保管いたします。ただしメーカーの部品供給状況により前後する
場合がございますので、あらかじめご了承ください。
修理により交換された部品や旧製品は、有償・無償を問わずご返却いたしません。

■ 免責事項

本製品の故障、またはその使用により発生したお客様の損害(営業損失・データ損失等)については、
直接的・間接的を問わず、弊社は一切の責任を負いかねます。
弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、本製品の故障に関する損害賠償責任は、ご購入金額を上限といたします。
内容は予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせ窓口

株式会社アーキサイト サポートセンター
弊社ホームページのお問い合わせフォームにて
受け付けております。
<https://archisite.co.jp/contacts/celestron/>



日本正規販売代理店

株式会社 **アーキサイト**

〒110-0006
東京都台東区秋葉原 5-9 明治安田生命秋葉原ビル
<https://archisite.co.jp/>